

心躍る創立 60 周年運営グループ基本方針

担当副理事長 川田 匠

1964年、志高き40名の青年が集い「このまちをより良いまちにしていく」という想いのもと都城青年会議所が誕生しました。そして、この想いは創立60周年を迎える今も変わりません。半世紀以上に渡り、先輩諸兄の揺るぎない信念と弛まない努力によって創られた歴史と伝統に対して感謝を伝える機会の創出と、創始の想いを継承していくメンバーを一人でも増やすため、運動を展開し地域にこれまで以上に力強く発信していく必要があります。

都城青年会議所が60年間運動を続けられているのは、行政や企業、各諸団体、そして何より、都城圏域の皆様の御理解と御協力を得て、様々な方との関わりを持たせていただくことができたからです。そして、この運動を牽引してきたのは、その時代に即した組織づくりを行いながら、地域に多大な影響を与え続け、青年会議所を地域から必要とされる団体として守り続けていただいた先輩諸兄です。これまでの歴史を築き上げていただいた先輩諸兄に敬意を表すと共に、都城青年会議所に関わっていただいた全ての皆様に対し、創立60周年記念例会を通じて感謝の気持ちを届けます。また、60年間行ってきた全ての運動の原点にあるものは、「このまちをより良いまちにしていく」という強い想いです。この想いに共感していただいたステークホルダーと共に、地域の未来を担う次世代の子ども達に起きている社会の課題を解決することで、子ども達がこのまちを愛し、住み続けたいと思える持続可能な地域を創る為の「装置」となる60周年事業例会を行い、まちを愛する想いを継承していきます。

60年間の歴史を紡いでくださった先輩諸兄の想いは継承しながらも、時代に即した「幸せを生み出し続ける装置」となる運動を、私たち自身がわくわくしながら行うことで、地域全体にわくわくを伝播させ、「笑顔溢れる^{まち}都城」を共感者の方々と共に創りだしていきましょう。その先に、地域の皆様の「心躍る未来」があると確信します。